

現職研修と免許状更新講習の重複・相異に関する関係者の意見・感想

▲改善、勘案を要する意見・感想

		受講者(教員)	講習開設者(講師、大学等)	教育委員会
研修と更新講習の重なりや相異について	内容の重なりについて	<ul style="list-style-type: none"> ▲教育センター等の研修と重複している ▲研修との内容の重なりがあるため、教育委員会との連携を望む 	<ul style="list-style-type: none"> ▲大学が提供できるのは、学問的知識理論であり、実践的内容は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ▲実際に内容が重複する部分がある ▲領域が重複するからといって、内容が全く同じにはならないのではないか(内容の棲み分けは可能ではないか)
	受講機会・日程について	<ul style="list-style-type: none"> ▲県の研修を更新講習として認めて欲しい ▲時期の重なりを無くし、負担軽減をして欲しい ▲夏休みは部活や補習で日程的に厳しい ●現在教員でないため、学校現場・課題等の動向が学べ有意義だった ●非正規の教員は研修を受けられないので有意義だった 	<ul style="list-style-type: none"> ●教員全体に網をかける制度として意義がある ●国公立の教員全体がともに学ぶ良い機会となる ●非現職の者の知識のアップデートになる 	<ul style="list-style-type: none"> ▲夏休みは教育委員会の研修も多くなる ▲部活動の行事などとも重なり負担大きい ▲負担軽減措置を講じている ●10年経験者研修は公立学校の教員のみで私立教員は対象とならない

※更新講習を開設した大学の報告書やアンケート等をもとに、文部科学省で抽出し、任意にまとめたものである。